

《症例報告》

たこつぼ型心筋症の病態把握に心臓核医学診断が 有用であった 1 例

浅野 雄二* 石井 勝己* 鷲内 隆雄* 青木 由紀*
勝沼 英太** 鴫田 尚樹** 和泉 徹** 早川 和重*

要旨 精神的ストレスによる高カテコラミン血症で生じたと考えられる“たこつぼ型心筋症”の 1 例を報告する。¹²³I-MIBG を用いた心筋交感神経機能シンチグラフィでは、左室造影で認められた左室壁運動の収縮低下部位に一致して、高度なトレーサ集積低下を認め、心筋交感神経終末部の障害が推測された。本症例では、心電図や左室造影検査に加え、病態生理の把握に、¹²³I-MIBG を含めた心臓核医学診断が、非常に有用と考えられた。

(核医学 38: 241–247, 2001)